



利府町の学校給食を紹介!



利府町の学校給食は、毎日約3,500食を「みんなのお昼キャロット館」と「みんなのお昼ポテト館」の2つの給食センターで、心を込めて調理し、安全でおいしい給食を学校へお届けしています!



キャロット館栄養士より

いつもたくさん食べてくれてありがとうございます!地元の食材を使ったおいしい給食になるよう、頑張っています。みなさん、給食の時間を楽しみにしてくださいね。



ポテト館栄養教諭より

みなさんからの「おいしい」の言葉が、私たちの力になっています。利府西学区の小・中学生のみなさん、今年度もポテト館ならではの新メニューを楽しみにしてください!



毎日、大きな釜で
たくさんの給食を作っています!



【献立一例】

- ・利府町産米のご飯
- ・利府梨入りのとびっ子カレー
- ・海藻とこんにゃくのサラダ
- ・星形ポテト
- ・牛乳

利府小学校のみなさんに聞きました!



いとう ぎずくさん
いつもおいしくて、
みんなと一緒に
楽しく食べることが
できて嬉しい!



ぬまくら りつきさん
色々なメニュー
を作ってくれて、
全部おいしい!



むらかみ ちはるさん
いつもおいしい
給食を届けてく
れてありがとう!

給食センターの
食育PR動画を利府町公式
YouTubeチャンネルにて
配信中止せひご覧ください!



キャロット館



ポテト館

学校給食費
無料化拡大

令和6年4月から対象学年を拡充し、小学校6年生から
中学校全学年の学校給食費を無料化しました



町長コラム

ベア・パル

ただ腹を空かせて君のもとへ帰るんだ



先日「利府の輝ける未来を見に行こう!」と幹部職員と連れ立って町内現地視察しました。利府町の未来を計画、ディスカッションし、戦略を練り、それをベースにさまざま働きかけをし、まずは声をあげる、話をしてみる、やってみることを旨として、町をよりよくしていこうと様々試みてきました。いろいろと考えても「10年はかかるかなあ」と自分なりに目算していたのですが、職員のがんばりや地域の皆さんのご理解がありまして、お陰様でその半分の年月で叶えることができたのではないかと自負しています。皆さん、ありがとうございます。今年度、どんどんと形になる予定ですので、街並みの移ろいを楽しみにしていただきたいと思えます。

行政サービスをより豊かにして、住む場所と働ける場所をもっと増やしていく事。ベンチャーやスタートアップしたいと思う気持ちを応援する事、安心を求めながらチャレンジもできる町。世の中「ベッドタウン」=マイナスにとらえられがちですが、こうしたネガティブな価値をポジティブにもっていく発想の転換こそ「町作り」にとっては大事。人々が常識とと思っている、思い込んでいること、心の中にある「当たり前」を変えながらまちづくりをする、または、できるということは、自分にとっても新鮮な取り組みだと思っています。

まだまだ利府町のチャレンジは続いています。住宅価格の

高止まりは利府町ならではの困った課題であります。それと併せて「利府の住宅価格、5,500万円以上だからね～」と話をしますと、いまだに「利府で!」とか「利府なんかで6,000万いくんですか!?!」と言われます。心の中で「なんだよ、その、『で』とか『なんかで』とか。。。」とつぶやいています。言葉の端々から聞こえてくる人の意識を変えていく事、これも大きなチャレンジの1つです。

今現在はソフト面にも当然、力を入れています。スポーツ、文化面を中心に人は育ってきていると思います。植物が群生するようにわっと育つような環境をどのように整えていくのか、これもまた興味深い試みです。スポーツ振興課の新設は、新たなドラマを生んでいくと期待しています。

政治行政は人の営みや生活を相手にする仕事です。ドラマ「逃げ恥」で星野源氏は「意味なんかないさ、暮らしかあるだけ」と歌います。まちづくりは一見「意味がない」ようですが、水面下では複雑怪奇、こんがらがっている糸のようでもあります。今年度もより多くの方が満足する、よりシンプルで、よりわかりやすい町作りに取り組んでまいりたいと思えます。

ゆたか

利府町長 熊谷 大